

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
包帯 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習+ 実技	時間数	30	単位	1
担当教員	難波英樹			実務 経験	有	職種	柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）				
授業概要											
柔道整復師に必要な包帯の巻き方について学ぶ。											
到達目標											
環行帯、螺旋帯、蛇行帯、折転帯、主亀甲帯を基本に授業を行う。冠名包帯や投石帯などを状況に合わせた包帯法を含め、金属副子や副木、厚紙副子といった硬性材料の作成、軟性材料の適切な使用ができることを目標とする。											
授業方法											
基本包帯法の実技を中心に、冠名包帯法、固定材料の作成、固定時の注意点を踏まえて実施する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（包帯固定学一般社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	授業概要の説明巻軸包帯について										
第2回	巻き方と注意事項固定の目的										
第3回	固定の範囲固定の肢位										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
包帯 1	
第4回	基本包帯法(1)
第5回	基本包帯法(2)
第6回	基本包帯法(3)
第7回	基本包帯法(4)
第8回	振り返り(1)
第9回	振り返り(1)
第10回	部位での基本包帯法(2)
第11回	部位での基本包帯法(3)
第12回	軟性固定材料(1)
第13回	軟性固定材料(2)
第14回	硬性固定材料
第15回	振り返り(2)